

経済だけではなく「こころ」も充足を

高等部(普通科)の生徒たちが、「職業Ⅱ」の授業で作業学習に汗を流していました。

もうすぐ「高等部虹のまつり」(令和 7 年 10 月 18 日土曜 9:00~12:00)がありますのでバザーに向けた作業も重要な局面を迎えているようです。

そのような中、作業棟でワークシートと向き合い、ああでもないこうでもないと熟考している「農芸班」の生徒たちの姿が目に見え込んできました。

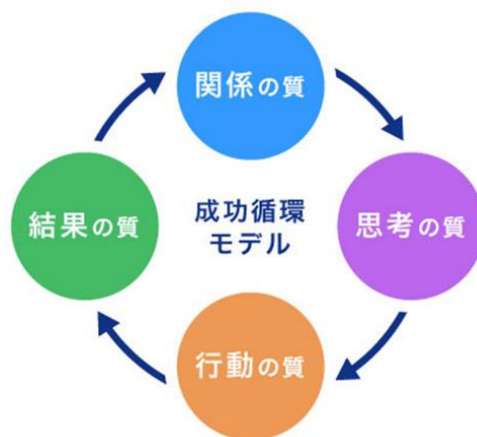
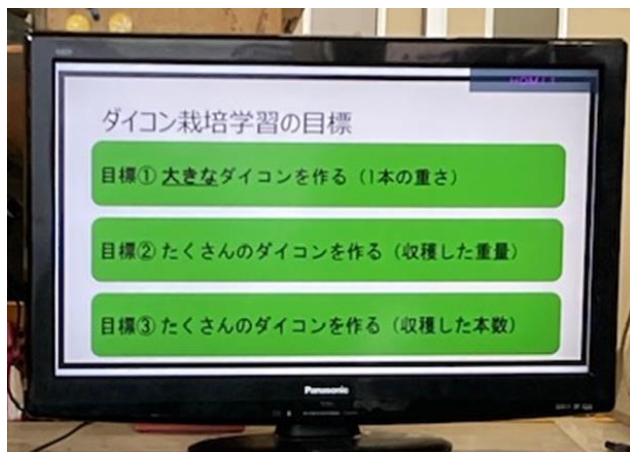
担当の先生に話を伺うと、作業学習の展開について、各生徒が、与えられた作業課題に応じるだけではなく、自分たちが思い描く収穫を得るために、作業の内容や方法を自分たちの判断で方向付けたり、軌道修正したりするなど、探究活動を取り入れた生徒主体の課題解決型の授業改善に取り組んでいることを教えてもらいました。

企業などでは「成功循環モデル」という考え方が重要視されていて、売上などの成果につなげるためには、従業員同士のコミュニケーションを活性化し、「関係の質」を向上させることで企業へのエンゲージメントが高まり、生産性も上がるという考え方のことです。

「農芸班」のモニターには、目標①～③が示されていました。学年縦割りのグループそれぞれが、探究したい目標(番号)を選択し、結果にコミットしていくために必要な作業の内容や方法を自分たちの判断で方向付けようとワークシートに向き合っていたのでした。せっかくの機会ですので、授業改善で「4つの質」※を高め、生徒たちの農芸班へのエンゲージメントの向上につなげてほしいと期待しています。

※ 1.【関係の質】お互いに尊重し、一緒に考える。2.【思考の質】気づきがある、面白い。3.【行動の質】自分で考え、自発的に行動する。4.【結果の質】成果が得られる。5.【関係の質】信頼関係が高まる。

※



2025.8.18 大分南石垣支援学校研修会 分藤レジュメ抜粋

『令和7年度 学校経営方針』で、めざす児童生徒を育成するための基本方針に、「自分が決めた目標に粘り強く取り組み、達成感を味わわせる指導の充実」、「課題達成の喜びを存分に味わわせることのできる適切な課題の設定と指導方法の工夫」を推進することにしています。

「聞く力」、「創る力」、「繋がる力」を大切にして魅力ある虹の原の教育を展開する

- 「R7年度 学校経営方針」でめざす！ -